

平成28年度活動方針について(会長)

会員減少の課題を抱えつつも、内外からの強い期待、すなわち、今年2月の陸幕長の「会勢拡大協力」に関する通達発簡、同じく2月の「南日本新聞」の隊友会の防災ボランティア活動・特集記事など、向かうべき方向や存在感について、内外から認められ、期待され背中を押して戴いています。

県の事業は、募集・援護情勢の厳しさを受け「各地域募集事務所と各支部との情報交換会開催」の他は、前年度事業を踏襲します。

55年の歴史と伝統を有し、素晴らしい鹿児島県隊友会を後輩に繋ぐため、今年度も地道な努力を行って参りましょう。

平成28年度 事業計画(概要)

1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動並びに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。このため、公益目的事業の定着充実により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図り、併せて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。

- (1)総務・組織

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 会員の増勢

a 即日入会率の向上及び未加入OBの掘り起こし

b パートナー制度施策の定着

c 家族会員加入率10%以上目標

d 予備自部会・女性部会を充実強化し隊友会の活性化を推進

e 特別会員の増勢(地域社会の隊友会への理解と協力促進)

f 会員の定着率向上(特に1年未満会員)

イ 組織の改編・強化

(ア) 新支部等の結成機運の醸成支援

(イ) 奄美地区活性化を重視

(ウ) 役員・後継者の育成・登用

曹友会長等の経験者の登用

ウ 会務運営の効率化

(ア) IT機器の効果的運用推進

事務機器のマニュアル化、会員との
- (2)市民・防衛・広報

ア 防衛意識の高揚

(ア) 定期総会時防衛講話、支部総会時の防衛意識高揚

(イ) 安全保障フォーラム(10. 22)開催(協力諸団体等と連携)

(ウ) 九・沖ブロック研修会開催(11.26～27 沖縄県那覇市)

(エ) 方面隊演習・防災・現地研修等へ参加

イ 自衛隊及び地方公共団体の防災等施策への協力

(ア) 隊友会自衛情報ネットワークの維持・拡充と12普連への情報提供

(イ) 防災ボランティア活動マニュアルの実効性の検証

(ウ) 鹿児島防災士会との連携及び防災能力等の向上

(エ) 「地域防災マネージャー制度」を活用し、自治体の防災監等への適任退職自衛官雇用の働きかけ

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する各種協力

自衛隊で培った能力・経験及び組織力の活用

(ア) 県内公益目的事業の推進

慰霊碑等の清掃、各種慰霊祭への参加等

(イ) 「東日本大震災復興お助け隊」への参加

エ 広報活動

鹿児島県隊友会HPへの積極的投稿と活用

オ 憲法改正運動

- (3)部隊等支援・協力諸団体・親睦

ア 部隊等支援

会活動の柱という認識のもと積極的に支援

(ア) 演習・訓練・災害派遣等・国際支援活動の協力支援

(イ) 部隊等との交流の拡充

a 部隊(駐屯地)との、定期意見交換会開催

b 隊員と各支部会員との直接的交流

c 各駐屯地開設「隊友会PRコーナー」充実活用

d 駐屯地(体育)クラブ活動支援

(ウ) 募集・援護等の支援

鹿地本・各地域事務所・援護センターとの連携

イ 予備自衛官等(即自含む)の支援

(ア) 招集訓練時の激励品、射撃優秀者への表彰及びメダル等付与

(イ) 隊友会活動の紹介時間の設定並びに意見交換会の開催

ウ 殉職者自衛隊員及び戦没者等の慰霊顕彰

(ア) 殉職者慰霊：方面・師団並びに各基地・駐屯地の追悼式参加

・ 地本の協力を得て鹿児島県殉職者の慰霊祭主催(県護国神社)

(イ) 戦没者慰霊：県として各種慰霊祭参加
- エ 親睦・福祉厚生

(ア) 県主要事業：県グラウンドゴルフ大会・囲碁大会

(イ) 会員の叙勲・功績に敬意、不慮の事故へお見舞い
- (4)財務・事務局・監事

ア 財務強化、会費徴収厳正化

イ 収益事業等 販売広報を積極的に実施

(ア) 天の輝き「隊友」は、九州各県隊友会及び県内会員への販売の拡大

(イ) 広告紙頒布依頼企業の開拓

(ウ) 公益事業等の情報獲得

ウ 県事務所の運営

鹿児島地区協議会員のボランティア協力を得る

県定期総会

鹿児島県隊友会は、新緑萌芽の爽やかな5月22日、鹿児島市の「ジエイド・ガーデンパレス」において、県下一円からの会員の出席と委任併せて議決権行使74.6%を得、平成28年度定期総会を開催した。

総会においては、叙勲



総会で挨拶する村山会長

者の紹介、献身的に各種活動に尽力した会員の表彰及び陸自川内駐屯地に對して感謝状の贈呈を行うとともに、議事では、河野鹿児島地区協議会長を議長に選出して、「①平成27年度事業報告・決算報告、②平成28年度事業計画・予算計画」を審議し、原案通り議決を承認した。

次いで、海上自衛隊第1航空群司令 市田章海将補による防衛講話「海上自衛隊航空部隊の役割」と題し、近年の国際情勢、我が国の東シナ海正面の厳しい防衛環境下

特に隣国の活発な活動に對するたゆまぬ監視活動等の実態と苦勞を拝聴し、敬意を表するとともに、益々の御活躍を祈る次第である。

また、懇親会においては、特別会員の国会議員・県議・市議、防衛関係諸団体及び賛助会員である県内所在の各自衛隊の部隊長等の出席を得、お互いに胸襟を開き、和気藹々かつ熱く語り合っ

大いに懇親の実を揚げることができた。

平成28年度においても、県隊友会村山会長の下一丸となり、更なる拡充を図り得るよう、地道かつ確実な活動に努める所存である。

1 G P 副会長 川原道治 記

副会長就任の抱負



(県)副会長 宮口修一氏

トを得て2年目に入りました。この2年間の経験を踏まえ、抱負を述べます。

年金制度改革で退職後も大黒柱として65歳までしつかり働き収入を得なければならぬ時代となり、若手と自由な活動できる会員は少なく、かつ65歳以下の会員の活動は限られています。

私も年金制度改革の過渡期世代であり、休暇処置をしながら限定した活動となりました。後輩会

員の置かれている状況を理解し、彼らが少ない活動・交流機会のため疎遠になり退会とならないよう意識して連絡を密にしう意図はありますが、時にはお酒を飲みながら悩み事の相談に応じる等応援し、つなぎ留めていく工夫が必要です。

隊友会も社会情勢に合った活動・対応・事業の精選が求められています。後輩会員も大変ですが仕事と相談しながら活動を続けて下さい。

次に、部隊等が隊員募集で苦戦している状況や地方自治体に「地域防災マネージャー制度」を活用した防災監等へ退職自衛官の雇用を求める等の援護活動をしています。特に、募集難の深刻さは隊友会に伝わらず十分な支援はなされなかったと思います。

部隊等と隊友会との相互理解・協力体制を深めたいです。

さつま支部長 竹ノ内純一氏の激励は、先輩自衛官として当時の経験をおもしろく話され入隊予定者を含む来場者の皆さんがうなづいていました。

また、先日テレビで防大の卒業式を見て、一抹の不安を感じていた中ここに参加して若き情熱の姿に接し日本の将来に安心感を覚えた。

「若き防人よ本気なれ」と叫びたいと掛上金峰支部長記

入隊壮行会に参加

南さつま市自衛隊入隊予定者激励会が3月22日市役所で実施された。入隊予定者5人に対する激励の中で、隊友会南



決意を述べる代表

県隊友会は県民と自衛隊の架け橋として自衛隊の支援等様々な活動を実施しています。しかしながら活動の基本となる会勢の拡大について向上が見られず会としての日常活動の在り方の検討が必要と思われます。▼会は会員のボランティア活動で成り立っていますが、これは社会への貢献や会員の親睦に寄与しているという実感が根本とされています。▼私は数年前まで阿蘇ジオパークの一員として活動し中高生の高岳登山支援やトレッキング支援をやっていました。近年、外国人や県外のお客が増え、それに応じてコースの充実や外国語の案内等自学研鑽を積みましたが、これは充実感を実感できる筈であるものでした。

▼自衛隊退職後宮崎県庁で防災担当として苦労したのが災対本部要員の能力向上と自主防災組織の防災意識の向上でした。向上の方法として着目したのが自衛隊の図上訓練を応用した災害図上訓練の「DIG」Disaster Game Image navigation、デイトというものでこの方策をボランティアセンターと一緒に各地区へ出向き防災意識の向上に努めました。▼これは地図上に災害の状況(浸水域、避難経路、避難場所、災害直後の問題点等)をマジックやラベル、粘土等で表示し日常からの取り組みを話し合うもので参加者からは災害が身近に感じられた、今後どうすれば良いか目標が出来た、等の感想が得られました。これこそ自衛官のお家芸で地域の発展に貢献しそれを会員が実感できる一方法と思われまます。要は会員の活動に充実感を感じられるかということです。▼DIGのみならず活動と地域の発展に寄与できる活動を探る必要があるのではないかと思います。

鹿児島地区協議会 増田克巳記

帰線

熊本地震ボラ



ボランティア作業後の会員達

熊本市宇城市（熊本県と鹿児島県との取決めで宇城市は鹿児島県の担当地域となっている。）に向かった。

震災から1ヶ月の間そのまま放置されている父兄会員宅（母親と女性のみのため手つかず）に到着し、ご家族の迎えに挨拶があり早速、作業指示

として0830に作業開始、まずは庭に散乱している瓦礫の撤収作業で、袋に入れて運ぶ瓦は非常に重く（翌日は足腰の痛みが大変であった。）庭の瓦礫処理が終わると屋根の防水シートの貼

り直し作業にかかった。降雨もありまた滑りやすい瓦の上で足場を確保しつつ、一部命綱も使用して屋根上でのシート張替作業を実施した。

また、屋根の破損瓦及び瓦の下の赤土を排除し15時頃には作業が終了し、帰りに宇城市役所を訪問して被災者の状況を確認した。

心地よい疲労感・充実感を味わいながら（操縦手はそうでなかったかもしれない。）帰途についた。

県事務局次長 後藤 光一 記

「梓特別攻撃隊」の紹介

第801海軍航空隊の二式大型飛行艇の3機が天候偵察（1機）と誘導（2機）のために「梓特別攻撃隊」に編入された。

「銀河」は800キロ爆弾を搭載して出撃である。鹿児島島の鴨池基地を離水した誘導任務の二式大艇（1機）と鹿屋を離陸した24機の「銀河」が佐多岬上空でランデブーしてウルシーに向かった。しかし、24機の「銀河」のうち8機がエンジントラブルで引き返し16機がウルシーに進撃を続けた。

攻撃は薄暮の時間帯で攻撃をする計画であったが、ウルシー到着が遅れたため、24機の二式大艇の誘導任務を完了した。

誘導の任務を完了した二式大艇は、日本海軍守備隊がいたウルシー環礁東方のメロヨン島近くに不時着し、乗員12人は全員無事でメロヨン島でしばらく生活していたが後日、日本海軍潜水艦に救出され、横須賀に帰投した。

（追記）「梓特別攻撃隊」の誘導のために2機の二式大艇飛行艇が用意された。その1番機が誘導に当たるとしたのがエンジン不調で代わりに2番機が離水して実際の誘導任務を完了した。

戦後、その操縦員であった長峯五郎海軍飛行兵曹長が「二式大艇空戦記」として体験談を文庫本で表している。長峯五郎氏は戦後「長峯水産株式会社社会会長」を歴任している。



攻撃を受けた空母「ランドル」

爆撃機「銀河」は長距離洋上飛行に不慣れな為、この泊地を取返すべく、双発三座（操縦員・偵察員・電信員）爆撃機「銀河」24機、72人が攻撃部隊である。

日没後の攻撃となり、目標が捕捉出来なかつたり山に激突したりと犠牲が多かった。1機の「銀河」が空母「ランドル」に突入し、25人の死者と106人の負傷者を出

たのであるが、未帰還で消息も不明であった。戦後、平成10年、計らずも米海軍の資料によりその全貌が判明した。「梓特別攻撃隊」が発進した3月11日付の米海軍のアクションレポートによれば、同日デニアンを発進したPB4Y-2機長ノーマン・M・カイザー中尉の報告に、『143（日本時間1043）EMI-LY（二式大艇）1機と交戦、撃墜した。』と記されていた。

エンジン不調で任務を2番機に譲った1番機は修理完了後に鴨池基地を離水して本隊の後を追った。 平田辰雄 記

訪れた方は、作品の見事に製作を依頼する人もいるほどです。田久見さんは、自衛隊を定年退職後、湧水町内の展示会で瓢箪の素晴らしき作品を見たのが製作のきっかけだそうです。

手先の器用さを生かし、豆瓢箪・千成・中国瓢・胴回り1mを超える大瓢を使い動物や浮世絵・マスコットキャラクターなど描き、作品によつては立体感を出すため何回も上塗りしたり、電気ゴテで絵柄（浮世絵）等の焼付け時は、1ヶ月以上も要するそうです。

作品は、自宅の居間に所狭しと並べてあり、グラウンドゴルフ大会や近所の友人らに寄贈した物を含めると300作品以上になるそうです。田久見さんは、作品が完成した時の達成感がたまらない。また、作品を通して少しでも多くの方に瓢箪の魅力を知ってもらえればと話しています。

愛瓢会の展示会では、最優秀賞・市長賞等を受賞されており、展示会にシ

「宝暦治水工事」の紹介

シリーズ三 隼人支部 石神 民男

8 受諾後の行動 ① 編成

・総奉行 家老平田鞆負 大目付 副奉行 伊集院十蔵

・普請奉行等他多数の役職あり。

たのであるが、未帰還で消息も不明であった。戦後、平成10年、計らずも米海軍の資料によりその全貌が判明した。

「梓特別攻撃隊」が発進した3月11日付の米海軍のアクションレポートによれば、同日デニアンを発進したPB4Y-2機長ノーマン・M・カイザー中尉の報告に、『143（日本時間1043）EMI-LY（二式大艇）1機と交戦、撃墜した。』と記されていた。

エンジン不調で任務を2番機に譲った1番機は修理完了後に鴨池基地を離水して本隊の後を追った。 平田辰雄 記

訪れた方は、作品の見事に製作を依頼する人もいるほどです。田久見さんは、自衛隊を定年退職後、湧水町内の展示会で瓢箪の素晴らしき作品を見たのが製作のきっかけだそうです。

「瓢箪一筋十五年」

霧島市国分新町の田久見さん（74歳）は、瓢箪作り一筋15年、鹿児島愛瓢会役員として、会員に瓢箪の栽培・育て方・作品の加工法等を指導されています。

愛瓢会の展示会に毎年出品され、カシニュー塗装・研ぎ出し・デコパージュ・電気ゴテによる焼付け、浮世絵・虎の作品を得意とされています。

愛瓢会の展示会では、最優秀賞・市長賞等を受賞されており、展示会に

シ

シリーズ三

隼人支部

石神 民男

幕府の総費用見積十四・五万両（当時の薩摩藩の年収は、二十万両と言われている）薩摩藩の総費用見積四十万両（江戸中期の金一両は、現代価格八万円相当とされるから三二〇億円）実に年収の二倍である。

それに對して幕府の支出は、一万両だったという。

※参考 ○藩債の推移（特に宝暦三年までの累積藩債） ・一六〇七年 文化四年 開化政策、江戸の大火 ・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

鹿兒島戦没者墓地清掃及び慰霊祭参加

3月27日（日）桜の花がちらほら咲き出した早春の肌寒い中、永吉町内会14人を含む会員等43人で鹿児島戦没者墓地の清掃及びテント設営を12普連の隊員と一緒に実施した。

10時から第135回目となる慰霊祭が7人の遺族を含め約100人の参加を得て開始され、まず12普連音楽部の演奏で雰囲気盛り上げたところで、主催者挨拶として戦没者墓地頭揚会、田

島会長が、墓地管理上の問題を提起するなど本慰霊祭の永続発展を強く要望し更なる協力をお願いした。

その後鹿児島県護国神社宮司の厳かな神事が執り行われ、参加者全員が玉串奉奠を行い、肅々と終了した。

前段の部が終了し、音楽部の慰霊演奏、次いで来賓紹介及び挨拶を頂いた。特に保岡興治代議士が、墓石問題に関連し、墓地の国家の関与についてその必要性を強調された。

その他自衛官代表の鹿屋、鹿児島地本、国分及び川内の司令等からも挨拶を頂いた。最後に墓地頭揚会顧問でもある、宇都隆史参議院議員が主催者側の挨拶を行い大東亜戦争で国外に眠る御霊のご遺骨を故郷に持ち帰るための法案の成立等について報告し慰霊祭は終了した。

終了後、記念館で隊友会員の昼食会が行われ、是枝権宮司様の靖国神社と護国神社の関係について貴重な話をいただくとともに支部長等の戦史紹介などの話も飛び出し、昼食会は大いに盛り上がり散会となった。

鹿児島地協 後藤光一 記

県隊友会長表彰

◎個人 鹿兒島地区協 堀秀文 殿

肥後 秀一 殿

谷口 武明 殿

久保 敏雄 殿

今村 三久 殿

小城 清一郎 殿

横山 春一郎 殿

松山 健一 殿

感謝状

薩摩川内支部 小原 静雄 殿

宮口 伊和男 殿

徳之島支部 竹下 寛 殿

鹿屋陸空支部 原園 直次 殿

山下 重雄 殿

さつま支部 伊佐 支部 部 千明 殿

入来支部 國師 実 殿

谷口 英二 殿

「宝暦治水工事」の紹介

シリーズ三 隼人支部 石神 民男

幕府の総費用見積十四・五万両（当時の薩摩藩の年収は、二十万両と言われている）薩摩藩の総費用見積四十万両（江戸中期の金一両は、現代価格八万円相当とされるから三二〇億円）実に年収の二倍である。

それに對して幕府の支出は、一万両だったという。

※参考 ○藩債の推移（特に宝暦三年までの累積藩債） ・一六〇七年 文化四年 開化政策、江戸の大火 ・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年 五〇〇万両 高利の借銀が嵩む

○現代風にいえば、我が国の約千兆円にも上る国債に似たようなものである。

○宝暦三年当時、既に累積藩債が六六万両あり、治水工事費用として当初多額の借財を必要とした

平田鞆負以下、財務担当者、京（伏見）・大阪の富豪商人から砂糖等

六六万両 治水工事、將軍竹姫入興、御守殿増築

・一八〇一年 享和元年 一七万両 皇居造営費二〇万両上納

・一八〇七年 文化四年 一六万両 重豪公の開化政策、江戸の大火

・一八二七年文政一〇年

喜入支部紹介

支部紹介の前に、まず喜入町（喜び入る町）を簡単に紹介します。

喜入町は、2004年11月1日に鹿児島市と合併し、鹿児島市喜入町として早や11年が経過した町です。人口約12000人で、6つの校区（町）から構成され、R226沿いに、東西約6



清掃後慰霊塔に参拝する会員と遺族会

km、南北約16kmからなる小さな町です。大きな産業といえば、昭和44年に操業を開始したJX喜入石油基地のみと言っても過言ではありません。

話は変わりますが、2008年に、大河ドラマで「篤姫」が放映されたのはご存じのことと思いますが、1800年代半ば、領主としてこの喜入地区を治めていたのが、肝付兼善で、その三男坊が、幕末の時代、近代国家の樹立に尽力された薩摩藩家老小松帯刀であり故郷の地でもあります。

さて、本題の喜入支部の紹介ですが、平成25年3月に支部を発足させ早や3年が経過しましたが、当初11名の会員でしたが、現在21名の会員でもって、支部を運営して

Gゴルフの思いで 鹿地協

西支部は、昨年、鹿児島地区協議会グラウンドゴルフ大会において見事「優勝」の栄冠に輝くことができた。私にとつてこの大会に参加して7回目の悲願達成であった。

悲願というのは大げさで実は、優勝できると誰も思っていなかったのではと思う。何故なら、これまで優勝までは程遠い



初優勝の西支部メンバー

成績ばかりであつたし、平均年齢も女性1名を含む「70歳」のチーム構成で予備もない状況で参加することに意義ありと。

当日は、快晴の中、我が支部の長老？純浦さんの力強い宣誓から試合が開始された。1試合目の8ホールは坂下さんのホールインワンもあり、私もアンダーパーの20とまずまずの成績だった。

後半戦は私を除き、チーム4名全員がホールインワン。坂下さんは2回も。もしかして「ベスト5に入るかな」くらいで皆さん無欲で自然体でプレーを終了した。

います。職域別では、陸19名、海2名、年齢別では、20代〜80代までの会員で構成しています。

特徴的なことは、任期制隊員出身の方が2名、そして現在、即応予備自衛官として勤務されている追立造園社長追立正人氏以下4名の方が支部員として活動に加わっているところ。若い会員の方々が少しずつ増加し、活気にあふれた支部になりつつあることを支部長として大変嬉しく思っている次第です。

年間の活動内容ですが8月と12月に招魂塚・太平洋戦争の慰霊塔の清掃（招魂塚は、明治10年西南の役で西郷軍に従事した喜入の士族の英霊をお祀りしている塚）活動及び毎年11月に前之浜地区で実施される「コスモス祭り」で駐車場への車両の誘導・案内等のボランティア活動を行っています。3年が経過し地域の方々から「今年も又お願いします。ありが

ゴルフアールで今でも90代のスコアーを維持されているものの優勝する時と言うのは実力より、運が左右するものだと感じた。たまたま、ホールインワンというラッキーが我がチームに集中したことが勝因に違いない。まだ、優勝のないチームの皆さん、必ず、幸運が巡ってくるまで頑張りましょう。

今夏のリオオリンピックでの日本選手への幸運が振りかざす活躍を期待するものです。

鹿児島地区協議会
西支部 永田真一 記

家族投稿 小さな喜

とうございました。」という言葉を頂くたびに、少しでも地域に貢献できたこと、また、隊友会のPRにも役立てたこと等支部会員一同充実感をもつて活動を実施しているところ。そして、釣大会等計画し、鹿児島地区協議会の他支部から数名の方がこの大会に参加されてお

ります。（支部員2人が釣り船を保有）又、昼間の釣りより夜の部を楽しみに来られる方もおり、他支部との情報交換も含め少しずつではあります。組織発展のため努めているところです。

皆さんも是非喜入に足を運んで下さい。大歓迎でお迎えいたします。

喜入支部長 堀奉文 記



薩摩川内支部長

支部定期総会

薩摩川内支部（支部長川原道治）は5月8日、薩摩川内市の「ホテルオートリ」において平成28年度定期総会を開催した。

総会の冒頭、支部長が「平成27年度は、伝統の継承と組織の活性化を合言葉に、会員各位の協力・支援と真摯な取り組みにより、ほぼ計画通り事業を進めることができた。平成28年度は、公益社団法人として、実効性のある公益事業の具体的な取り組み等全会員の英知を結集して進めるとともに、風通しよく更なる組織の充実を図り得るよう、関係諸団体との緊密な連携と地道な活動・事業の推進を図るため、引き続き更なる支援・協

なかなかどうしてそう簡単なものではなく、やればやるほど難しくなってくるのはどうしてでしょうか？

特に、徳之島は毎年台風の通り道になっておりある老人が「百姓はみじめなものだよ。台風1個ですべてがパー」と嘆いていました。まさにそのとおりで、台風でなくても、雨、風、日光、気温に大きく左右されるのが家庭菜園です。

それでも現在、猫の額ほどの我が畑では、ニガウリ、カボチャ、オクラ

オリンピック支援

今年のはリオオリンピックの年。4年後には再び東京オリンピックが開催されます。

私は、昭和39年のオリンピックでは、選手の輸送支援員として約二ヶ月間、朝霞駐屯地を宿舍に選手村で勤務しました九州からの支援要員は、福岡で一ヶ月ほど事前教育があり、万全の態勢で臨みました。任務は、選手村から各種目毎の競技場バスへの誘導です。

各選手は、各国の威信をかけて参加しているの、間違いなく競技場へのバスへ誘導しなければなりません。競技に使用友会及び関係諸団体との連携のもと、支部組織の更なる発展・充実を図り得るよう、地道かつ確実な活動の推進に努める所存である。

薩摩川内支部長 川原道治 記



家庭菜園に精が出る平野律子氏

里芋、スイカ、トウガン、トウモロコシ、キュウリ、ササゲ等が元気に育っています。収穫が楽しみです。

日本人はやはり農耕民族だっただけで、土いじりをしている心と心が着くような気がします。

皆様も家庭菜園いかがでしょうか？

徳之島支部 会員家族 平野律子 記

晴れの受賞 おめでとう

- ◎春の叙勲受章者
- ★瑞宝双光章（危険業務）
 - ◆国分（陸） 八汐浩二殿
 - ◆山光治殿
 - ◆鹿屋（海） 藤春誠殿
 - ★瑞宝単光章（危険業務）
 - ◆国分（陸） 坂元孝正殿
 - ◆武蔵 恵助殿
 - ◆若松 修殿
 - ◆隼人（陸） 坂本吉孝殿
 - ◆福元 正和殿
 - ◆曾於財部（陸） 松下尚登殿
 - ◆さつま（陸） 吉富裕殿
 - ◆西之表（海） 西之表（海）殿
 - ◆知名（空） 長倉等殿
 - ◆阿久根（陸） 寺下秀則殿
 - ◆出水（陸） 馬見新一殿
 - ◆薩摩川内（陸） 柏木正市殿
 - ◆田口瑞穂殿
 - ◆知名（陸） 元榮淳一殿
 - ◆鹿児島（海） 鹿屋島（海）殿

防衛省団体扱い自動車保険（指定店）

この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

なんと19%割安です

※初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………

連絡先：099-229-4103

FAX：099-229-5176

〔引受保険会社〕

損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島

※中古車販売及び車検も承ります。



安田 勇康（隊友会員）

「隊友さつま記事募集」 ◎題名内容等不問

1 送り先 〒891-0203 鹿児島市喜入町544-1 春田博明

鹿児島地協 南支部 桑木野 政信 記

東郷記念 式典開催



東郷家の献花

5月15日、新緑薫る鹿児島市多賀山公園内の東郷元帥墓地において、5年振りに63回目の式典を挙行できました。

今回は、鹿児島水交会創立十周年を記念し、当式典のほか、海自佐世保音楽隊の演奏会及び祝賀昼食会を催行する予定でしたが、熊本地震に鑑み

取りやめ、墓前演奏は諦めていたところ、国分に駐屯している陸自12普通音楽部の派遣があり、お陰さまで、式次第に欠落なく粛々と実施できました。

雄大な桜島を背に、10時32分海自第一航空群の、P-3C単機が上空を表敬飛行したのを皮切りに、鹿児島航空基地儀仗隊が整列のもと、音楽部の「君が代」に併せて参列者全員の国家斉唱により、国旗、軍艦旗の掲揚から始まりました。

次いで、第一航空群司令（海将補市田章）による海上自衛隊参拝、来賓挨拶（代表 参議院議員尾辻秀久）、式典実行委員長（かもめ会・鹿児島水交会会長立元四郎）が式辞を述べ、来賓紹介後音楽部の「慰安する」演奏のもと、東郷家ゆかり

の方々、政財界、県・市・自衛隊関係者、防衛協力諸団体、崇敬者等約200人の方々が墓前に献花されました。

後半は、祝電・祝詞の披露、日本海海戦の歌を全員で合唱し、東郷元帥も生涯、励んだといわれる自願流の演武を小学生を含む9人が実施した。

一太刀必殺の気合で木刀を横木の束に打ち込む様子は、薩摩隼人の凄さを感じさせるものでした。

初公開、「天吹」（竹の縦笛）の吹奏は、武人のたしなみで、東郷さんも懐かしみのではと好評でした。終わりに、鹿児島水交会会長のお礼挨拶、国旗、軍艦旗の降下で、11時30分に終了しました。

本式典は、東郷元帥没（昭和9年）後、翌年墓を鹿児島市が整備し、始

私の趣味

「製菓報告」

国分警務隊岡元順一隊長

私のお菓子作りの発端は、亡き母のお菓子作りの手伝いに始まる。小学3年頃から母の趣味であ

まりましたが、戦後中断され、これをみかねた海軍・海自出身者が中心となり、昭和29年から再開、毎年5月に実施し、63回を数えます。

しかし、いつもながら後継者がいなく高齢化の中、多数の隊友会会員のご協賛、ご参列しかも式典受付等の大部分を支援して頂きありがとうございます。次回から組織の強化・式典の見直し等に着手せざるを得ません皆様のご提案を請う次第です。式典実行委員長 立元 四郎 記



第135地区警務隊
国分派遣隊

つた和・洋菓子作りを手伝わされるうち自ら工夫し作るようになった。中学になると、地元の菓子屋へ出向き、本格的な菓子作りの基礎・基本を習い、高校に上がると県・九州・全国の大会へと駒を進めるまでに至りその後は菓子屋に就職も決定していたのだが、コンバットの「サンダース軍曹」への憧れが勝り、路線変更自衛官になった戦闘職種普通科が何より好きだったのだが、運命の悪戯に転がされ警務官となり恥ずかしながら現在に至っている。警務官になったお蔭で、全国転々と異動させて頂けております。

定年に思 う

主に部隊勤務ばかりの自衛隊生活でしたが、定年2年前に地本勤務となり、部隊勤務とはまた違う、多様な業務の難しさをひしひしと感じつつ勤務してまいりました。

さて、定年を前にして

気になるのは、地本の業務は近年の募集の厳しさであり、また、自分のこととて言えば、やはり、次の就職の選択であります。そのような中、定年を前に自己啓発で勉強したキ



鹿地本 平夏樹3佐

ヤリアコンサルティング関連の教科書に興味をもったものがありました。人がどのように職業を選びキャリアを積み上げていくかの理論の一つに機会遭遇論というものがあり、それには「個人があることを選択できるかどうかは、機会に出会うかどうかである」、「人間は学習によって変容し続ける存在である」、「主体的な努力をすることによって偶発的なできごとをあたかも計画されたできごとのように自分の能力として活かせることができる。」そして好奇心、冒険心、持続性、樂觀性、柔軟性などの行動特性をもっていれば成功しやすいとあります。マツチング理論などとは違いますが、正直、私

隊員紹介

奄美通信隊

皆さん、はじめまして私は奄美通信隊、無線整備係りに所属している木下2曹です。この度「隊友」さつま一誌への寄稿の機会を得ましたことから、私の家族構成及び趣味について紹介し、また奄美大島について感じた事を述べたいと思います。

家族構成は、妻と子供4人と平均よりも若干多い？構成となっております。子供は上から長女20歳次女18歳、長男17歳三女7歳と幅広い構成となっております（笑）。長女はすでに社会人として自立しています。家族を沖縄に残し、現在寂しく単身赴任中です。



奄美通信隊
木下政弘2空曹

趣味はボーリングで、マイボールとマイシューズ。最後に残念な話で筆を置きたいと思います。私が自衛隊に入隊する時も「まあ、いいか」と入り入ってから勉強させてもらって、自分なりに変容したのかと思えます。また、私自身も、先輩からの声かけがなければ今の私はありませんでした。後輩隊員の募集に関しては、退職後も、努めて若い方に自衛隊を知ってもらえる努力をすることで、自衛隊に恩返しができると思います。

の家族は、新作だろうが完璧な出来だろうが誰も出来上がった菓子を食べてくれません。えつ、作ったお菓子はどうするか？つて・・・近所の子供達に配ったり、職場でのお茶請けとして処分させて頂いております。週明けには何かしら作った菓子がありますので

宜しかったら「喫茶M」へ一寸一息いかがでしょうか？

第135地区警務隊
国分派遣隊
陸曹長
岡元順一記

「みなと祭り」案内 自衛隊鹿児島地本

- 日時：H28. 7. 23(土) 及び24(日)
- 場所：鹿児島港北埠頭
- 催し物等
(1) 護衛艦「いずも」
(2) 装備品展示
(3) 音楽演奏等
(4) パネル展示
(5) その他
○ 問合せ先
自衛隊鹿児島地本広報班

全国の隊友向けに造りあげた一品!!

薩摩本格焼酎 天の輝き「隊友」 隊友会本部推奨



☆そのこだわり

- 原料はすべて鹿児島産100%使用
- サツマイモは黄金千貫、麴用コメはひのひかり（直営農場で有機栽培）

◎ 売上の一部を、鹿児島隊友会(本部、支部)へ還元

●720ml
¥1,100 (税込)
●1800ml
¥2,200 (税込)

1ロット
・720ml×12本
・1800ml×6本
の場合
送料無料!!

酒類通信販売 北薩摩本舗
FAX&TEL0996-44-5718
フリーダイヤル0120-58-7085
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2230-3



- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい
たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp